

編集後記

◆葵祭りの日、立命館大国際平和ミュージアムを訪れた。2階奥には「無言館」の展示室として戦没画学生の絵が展示されている。地階が常設展示で、45年、日本敗戦で解放された「3人の従軍慰安婦」の写真がある。「戦時の性暴力」下、一女性は何人か。子はどうか。どうだろうか。アフガンでは、ドイツ女性兵士が捕虜に性的暴力を振った。男女問わず、軍隊機構そのものに暴力性があるからだ。(有馬保彦)

◆5月3日の意見広告。いつも載っている友人の名が無い。後日会ったら「周りに声をかけているうちに自分の忘れちゃったのよ」と残念。今年は単純明快でよかったのに。彼女とよく話すこと。「戦争を知らない、学ばない人が政治やってる」「しかも総理を」「やっ」と回復し築き上げた信頼を一瞬に崩す。何度同じこと繰り返すのよ!」怒りは収まらない。池袋駅頭で若い声が叫んでいた。「他国の脅威に屈するな!」これも恐ろしい。(いくみ)

◆憲法記念日の市民意見広告の報告から、参院選挙をひかえ、重要な論点を総見直した力作の数々まで、充実の本号となりました。あとは読者の皆さんが周囲の方々に勧めていただくご努力に期待するばかりです。

◆校正する皐月の爽やかな夕刻、オリオン座ともしばらくお別れ。この地上界では、理

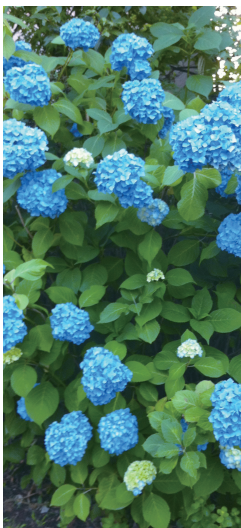
(高橋武智)

性の溶融崩壊—そんな事態を思わせる安倍、麻生、橋下、西村、石原の《コトバ》。そして、劣情に喝采する世情の一角。がしかし、権力(多数者)によっても侵し得ないもの、それが人権。かの自由民権運動期、五日市の山奥で青年たちは情熱と理知とを傾けて憲法研究に取り組んでいた。自民党改憲案の含蓄をかみしめながら、憲法学習に励みたい。

(對馬芳)

◆「象は鼻が長い」というのは、日本語独特の表現だそうです(この表現を解説した同題の研究書があるくらい)。「象の鼻は長い」「象は長い鼻を持っている」というなら、欧米語に移し変えられます。しかし「象は鼻が長い」という時、その意味は「象についていえば、その鼻の形状は長い」ということであつて、主語は象か鼻かというのは、一言では答えにくい問題なのです。

校正で他人様の原稿を読んでいると、時々「この文の主語は何だ?」と考えてしまうことがあります。「市民意見広告は……×月×日の○○新聞に掲載した」「掲載した」は「掲載された」ではないか? いや、主語は「われわれ」? さて、ここで問題です。「今回



の市民意見広告は、デザインが素晴らしい!」この文章の主語は何でしょう? (本野義雄)

◆昨年末以来、よくは安倍政権の巧みな「戦略」を切歯扼腕の思いで見えています。大衆の関心を引き付け誘導するための耳触りの良い政策的スローガン、マスコミが飛びつきそうな話題を絶えず提供し続ける綿密に仕組まれたシナリオとパフォーマンス、時間軸に沿った明確な短期的目標の設定とヒト・モノ・カネなどあらゆる資源の集中的投入……。これは企業経営の手法そのものです。小泉政権の時と同様、恐らくシンクタンクや広告業界、各大学の学者をはじめ、政官財界からマスコミまでを巻き込んだ相当の広がりや数のブレインが裏方として日夜走り回っているに違いないありません。安倍や橋下に喝采する国民がアホなのではありません。われわれの運動が旧態然としたまま、「戦略的」に後手に回っているのではないのでしょうか。ゴマメの歯ざりであっても、今号がその反撃の一步になれば良いのですが……。(野澤信一/今号担当)

「インフォメーション」

☆立教大学公開講演会『民間学再考—鶴見良行に寄せて—』7月12日(金) 18時30分から 話: 鹿野政直(日本近代思想史) 場所: 立教大学池袋キャンパス8号館8201教室(JR池袋駅・地下鉄要町駅下車) 主催: 立教大学共生社会研究センター 問い合わせ 03-3985-4457 参加費不要。